

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度技術情報第21号（チャのチャハマキ）について（送付）

チャのチャハマキについて、下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いいたします。



なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。

令和5年度技術情報第21号

チャでは、チャハマキ幼虫の発生が多くみられ、フェロモントラップでも成虫の誘殺が多く推移しています。また、冬季の気温が高かったことから、例年よりチャハマキ成虫の発生が早まっています。性フェロモン剤を用いて防除する場合、発生量が多いことから一番茶摘採前までの設置に努めてください。また、ハマキ天敵を散布する場合は、フェロモントラップ等で発生状況を把握し、今後の防除適期を確認してください。

1 対象病害虫 チャハマキ

2 対象作物 チャ

3 発生地域 県本土

4 発生時期 早い

5 発生量 多

6 発生状況

- 3月の巡回調査での幼虫の発生ほ場率は、22%（平年10%）と高く、虫数/m²も0.5頭（平年0.2頭）と多い（図1）。
- 3月第1～4半旬のフェロモントラップ誘殺数は526頭（平年122頭）と多く、初誘殺日も3月1日（平年3月7日）と早い（図2）。
- 12～2月の日平均気温は、11.1℃（平年9.3℃）と高く、今後の1ヶ月予報でも気温が高いと予想されているため、発生時期がさらに早まることが予想される。

7 防除上注意すべき事項

- 性フェロモン剤を用いて防除する場合は、発生量が多いため一番茶摘採前までに設置する。
- 性フェロモン剤の効果を高めるには、できるだけ広域での一斉使用が望ましい。
- ハマキ天敵を散布する場合は、フェロモントラップ等で発生状況を把握し、発蛾最盛日から16～22日に実施する。

6 参考データ

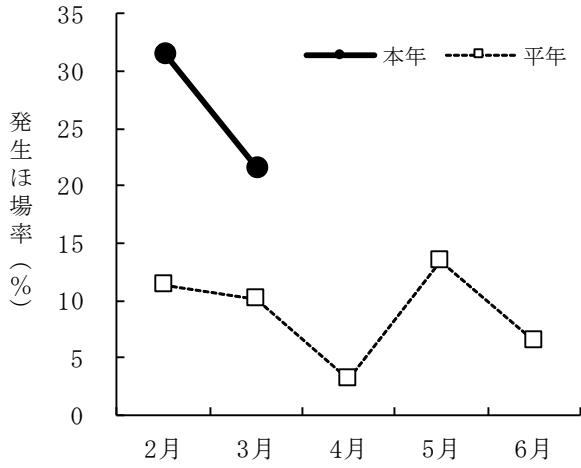


図1 チャハマキの発生ほ場率

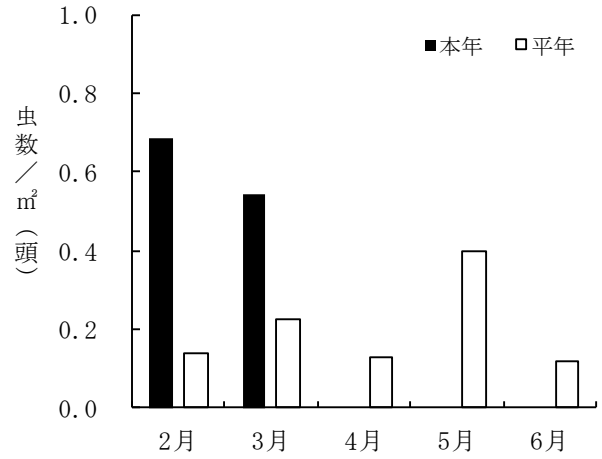


図2 チャハマキの1 m²あたりの虫数

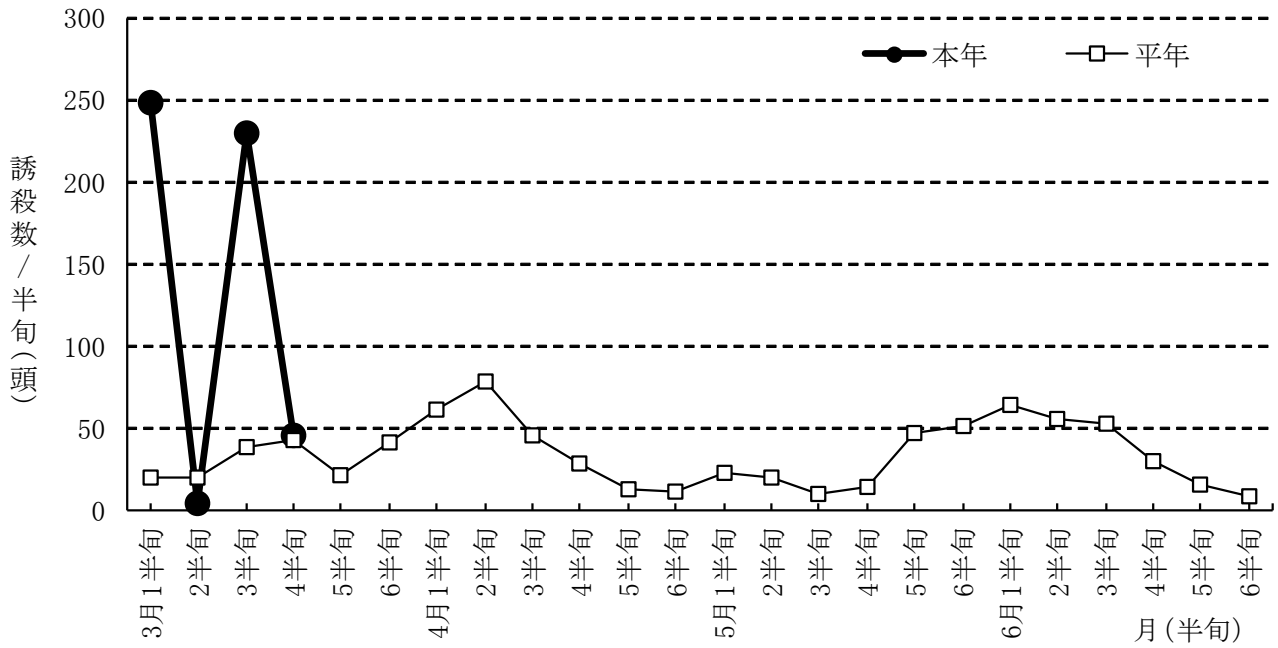


図3 チャハマキのフェロモントラップ誘殺数 (南九州市知覧町)